

水 道 事 業

区 分	令和6年度	令和5年度			算 出 方 法
		久留米市	全国平均	類似規模 平均	
長期的健全性					
1 固定資産構成比率(%)	85.4	87.0	88.8	88.2	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$
2 固定負債構成比率(%)	15.5	16.8	21.1	25.1	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$
3 自己資本構成比率(%)	80.3	79.2	74.4	70.8	$\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$
4 固定資産対 長期資本比率(%)	89.1	90.6	92.9	91.9	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$
5 固定比率(%)	106.3	109.9	119.3	124.6	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額等}+\text{繰延収益}} \times 100$
短期的支払能力					
6 流動比率(%)	344.3	324.9	250.5	289.4	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
7 当座比率(%)	316.1	322.9	237.2	272.9	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$
8 現金比率(%)	280.4	282.1	211.6	241.4	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
資産・資本の有効利用等					
9 自己資本回転率(回)	0.1	0.1	0.1	0.1	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本}) \div 2}$
10 固定資産回転率(回)	0.1	0.1	0.1	0.1	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産}) \div 2}$
11 当年度減価償却率(%)	4.0	4.1	4.1	4.2	$\frac{\text{当年度減価償却額}}{\text{固定資産(有形+無形)}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却額}} \times 100$
利益率・収益性					
12 総資本利益率(%)	0.9	0.7	0.8	0.9	$\frac{\text{当年度経常利益}-\text{当年度経常損失}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本}) \div 2} \times 100$
13 総収支比率(%)	110.4	106.2	108.2	109.6	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
14 経常収支比率(%)	110.0	107.3	108.3	109.7	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
15 営業収支比率(%)	104.3	101.7	97.4	99.1	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$

経営分析表

区 分	令和6年度	令 和 5 年 度			算 出 方 法
		久留米市	全国平均	類似規模 平均	
企業債関連					
16 利子負担率(%)	0.9	0.9	1.3	1.2	$\frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債}+\text{一時借入金}} \times 100$
17 企業債償還元金対減価償却額比率(%)	90.5	81.1	65.7	69.9	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}-\text{長期前受金戻入}} \times 100$
18 企業債償還元金対料金収入比率(%)	26.2	24.8	21.1	21.8	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$
19 企業債利息対料金収入比率(%)	1.6	1.7	3.3	3.6	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 10$
20 企業債元利償還金対料金収入比率(%)	27.8	26.5	24.4	25.4	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$
21 企業債残高対給水収益比率(%)	176.8	186.2	250.5	285.8	$\frac{\text{企業債現在高}}{\text{給水収益}} \times 100$
職員関連					
22 職員給与と費対料金収入比率(%)	12.4	13.2	11.3	12.5	$\frac{\text{職員給与と費}}{\text{料金収入}} \times 100$
23 職員一人当たり営業収益(千円)	77,184	75,450	69,408	61,535	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
24 職員一人当たり有形固定資産(千円)	531,307	526,236	559,194	486,557	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数}+\text{資本勘定所属職員数}}$

(備考)

- 1 総資本は、負債と資本との合計額を用いて算出している。
- 2 No.9の自己資本は、資本金、剰余金、評価差額等及び繰延収益の合計額を用いて算出している。
- 3 No.22の職員給与費対料金収入比率の算出要素である職員給与費は、損益勘定所属職員に係る給与費を用いている。
- 4 類似規模平均欄の数値は、本市と類似規模の都市である給水人口15万人以上30万人未満の市の水道事業者の平均値を表している。
- 5 全国・類似規模平均欄の数値は、「地方公営企業年鑑」(総務省)の「第2編 第3章 1.水道事業(19)水道事業集計表(法適用)」の数値を用いている。